

共同の国民の声が生きる新しい政治へ



大型開発・ハコモノより町民のくらし優先に

今年もよろしく願います。
自民党政治の深刻な
行き詰まり

「安倍政治をどう見るか」「どのようにして安倍政治を転換するか」——日本共産党は、国民本位の政治を実現するうえで、この角度が重要だと考えています。

1月15日から開催される日本共産党第27回大会の決議案は、冒頭で「新しい対決構図」をかかげ、「安倍自公政権とその補完勢力に、野党と市民の共闘が対決する、日本の政治の新しい時代が始まった。」と述べています。そして、憲法を踏みにじった安保法制、戦争法の強行、沖縄の米軍基地建設の強行、先の国会でのTPP批准の強行、年金カット法・カジノ解禁推進法の強行などを批判したうえで、「安倍政権は、民意無視の強権政治に頼るほかに、いまやこの国を統治する術をもて

なくなっている。安倍政権の強権政治、暴走政治は、この政権の『強さ』では決してない。それは古い自民党政治が深刻な行き詰まりに直面し、国民との矛盾をいよいよ広げていることのあらわれにほかならない。」と、ズバリ指摘しています。

安倍政権打倒＝新しい政治への

大きな一歩

だからこそ、憲法に基づく政治を取りもどす野党共闘を真剣に働きかけてきたのです。党大会決議案は「安倍政権を打倒することは、たんに暴走政治をストップすることにとどまらない。それは自民党政治そのものを終らせ、新しい日本に踏み出す、大きな一歩となるだろう。」と力強く語りかけています。

衆議院の解散・総選挙となれば、「改憲勢力3分の2体制」を打ち破り自公とその補完勢力を少数派に追い込むため全力をあげます。みなさんのご支援を心からお願ひします。（日本共産党の「新提案」
＝裏面参照）

着服事件の究明で

町政の信頼回復を

昨年1月に発覚した横領事件に対し、町民・議員有志が呼びかけた「事件の全面解決を求める」署名運動で町内外から3113筆が寄せられ、告訴と原因などを究明する第三者調査委員会の設置につながりました。思想・立場の違いを超えた共同の力を発揮したことは「住民こそ主人公」を力強く示したものと考えます。町民が苦勞して納めた税金を平気で着服してきた原因・背景は、今後、徹底的な究明

が必要で、町民のくらしに寄り添い、弱者にやさしい町政が切実に求められています。くらしにこそ

▲出荷作業に精を出す町長・金織昭人さん
＝道の駅せせらぎの里＝



税金等の膨大な滞納額に象徴的にあらわれた甲良町政の重要な課題——深刻な貧困・生活苦、行政への信頼崩壊、無法の連鎖……と正面から向き合い、共に解決することを町政の中心柱にすることが、甲良町では、とりわけ大切です。従来の「せせらぎ遊園のまちづくり」を根本的に見直さなければ、甲良町が抱える深刻な問題は解決の入り口にも立てないと考えます。現に人口減少は予想以上のスピードで進んでいます（広報こうら：北川町長の新年あいさつ）。人口減少や相次ぐ不祥事に対する処方箋を誤ってはなりません。

政治の光を

日本共産党は、くらし・医療・介護・子育て・教育の重視、農業支援の充実を求め、様々な立場の違いを超えて力あわせ町政を一歩ずつ前に進めるため尽力する決意です。

甲良民報

2017年1月1日 691号
発行責任：日本共産党甲良町議員
連絡：甲良町在士463（西澤）
Tel：38-4949 Fax：38-2242

ご意見・ご要望をどうぞ。

☆くらし・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38-4949 丸山光雄 38-3123 松元たけし 38-3875

◎日本共産党の見解を紹介します。メール shigakoura.jcp@ares.eonet.ne.jp ホームページもごらんください【「西澤伸明」で検索】